

高く 広く 強く 豊かに



学校だより



2024（令和6）年 11月26日

伊賀市立阿山中学校

No.10 伊賀市千貝 10番地

<http://www.iga.ed.jp/ayama-j/>

あやまパワー！！

あ…ありがとう や…やってみよう ま…まだ、なんとかなる

2学期後半は、文化祭をはじめとする総合学習のまとめや、地域の方々との交流、3年生進路説明会など、節目となる行事や活動に取り組んできました。子どもたちは、出会いや経験を積むことで、それぞれの成長を見せられました。期末テストが始まり、今学期も締めくくりの時期を迎えています。来る冬に向けての準備をしつつ、換気力を入れ、インフルエンザ等の感染症予防のために取り組んでいます。



PTA研修部のみなさまありがとうございました！

11/15～大人とともに考える全校人権集会～

PTA研修部員さんを中心に保護者の皆さまや地域の方々にも参加い



ただいて「身近な人との関わりについて」という全体テーマのもとに「大人とともに考える全校人権集会」を行いました。



はじめの全体会では、人権サークルのメンバーから、今回の話し合いのテーマ①「外国人に関する人権」と、テーマ②「部落問題を解決するために」について話し合うことを確認しました。

その後全学年が12のグループに分かれ、それぞれのグループに保護者・地域の方々にも入っていたり、3年生のリーダーが司会を担い話し合いを進めました。

2つのテーマから考える交流では「決めつけや偏見に気づく」「自分から関わっていくこと」「学んだことを伝えていくこと」「無意識の差別」「相手のことをよく知ろうとすること」「自分の言葉に責任を持つ」「本音で話せる仲間をつくる」などのキーワードが多く出されました。



グループ交流の最後に、感想を出し合う場面で、あるグループからは、「今まで、外国人の人権や部落差別の問題は、少し遠いと感じていたけれど、今回話し合ってみて、案外自分に近い問題だったんだと気づきました」とや「やっぱり話し合うってめっちゃ大切やと感じた」などの感想が出されました。

～生徒感想より～

- 大人の人がいることで、その人の体験や違う視点での考え方を知れたのが楽しかったです。やる前は、難しそうだな…と思っていたのですが、やってみると思っていたよりずっと考えやすいテーマでした。違う学年や大人の人がいることも緊張していましたが、上級生がしっかり話を聞いてくれて共感してくれたので、“気楽に話し合いをすること”ができてうれしかったです。
- 他の学年の子どもみんな差別をなくそうとしているのが伝わってきて、本気で考えているのはみんな同じなんだと安心しました。クラスの中で、話したことがない子やあまり話さない子がいるので、もっと話して相手のことを知ってみたいです。





○今回の集会は、個人的にたくさん考えられた人権集会でした。特に部落差別についての考えが180度変わりました。まずは、相手と話し合ってみることがとても大切なんだと感じました。

○人数が少し多くて緊張したけれど、司会者の人がうまく進めてくれたので、人権についてみんなで楽しく話せました。来年は、私が司会になるかも知れないので、みんなが安心して話が出る雰囲気をつくっていきたいと思います。

<ご参加いただいた大人の方々からの感想の一部を紹介します>



◇どの学年も一人ひとりが自分の考えを自分の言葉でしっかり伝える姿、発言するとき少し言葉につまってしまう友だちがいても待ってあげる。隣の子が優しく聞いてあげるなどの姿が見られ、参加していただいてあたたかい気持ちになりました。昨年に引き続き、参加させてもらいましたが、中学生の思いや考えを聞くことで、自分自身の人権、差別に対する考えを振り返ることができたり、偏見や思い込みに気づくことができたように思います。

◇大人よりも中学生の方がとても柔軟で、たくさんのかんがを感じているんだなと感動しました。偏見や差別を無意識にしてしまっているかも知れないから気をつけていきたいという意見が出て、そういう姿勢にこちらが学ばせていただきました。また、司会をされた3年生は、一人一人の意見をきちんと受け止め返す姿に、大人でも難しいと思うのにすごいな…と感じると同時に縦割りグループで話せるこのような機会は、3年生ってすごいな、あのようになりたいなと思えるきっかけになると思いました。

◇小学校から学んできた人権に対する考えがより一層深まっていることが素晴らしかったです。「本音を言い合える仲間」「信頼できる友だち」をこれからもつくってほしいと思いました。



◇ひとりひとりが人権についての考えを持ち、発言できていることに感心した。自分たちの中学生時代は、差別という言葉は知っていても、そのことについて真剣に考えるような機会は少なかったように思う。自分たちの日々の生活の中にはあらゆる差別が今も存在する。そんな場面に直面したときに、今日の学びを少しでも行動に移せる子どもたちであってほしいと願います。

◇人権を考えることが、子どもたちのなかで日常的になってきていることが伝わってきました。「差別はおかしい」そのことはわかった上で、もし自分だったら…と、考え話せる子どもの姿は、次の段階に入っているんだろうと思いました。この人権集会を続けてきたからこそその生徒の姿だと思いました。とてもいい時間を過ごせました。

私たち一人ひとりが部落問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けて、今できることを考えあい交流する有意義な時間となりました。ご参加いただきました保護者の皆さま、地域の皆さま本当にありがとうございました。



～学校アンケートへご協力のお願い～

2学期の締めくくりにあたり、保護者の皆様へのアンケートにご協力をお願いいたします。

今回の保護者アンケートは、1学期にいただいたご意見を取り入れ、Googleフォームでの回答を考えています。紙面での回答を希望される方は、案内文書の裏面にアンケートを貼りますので、電子・紙面いずれかでご回答ください。案内文書は、12月2日(月)にお子さまに持ち帰ってまいります。ご多用の中お時間をいただきますが、12月11日(水)までに回答を入力していただくか、紙面にて提出いただければありがたいです。よろしくお願ひします。